

2020 年度小委員会活動成果報告

(2021 年 1 月 6 日作成)

小委員会名	構造工学論文集編集小委員会	主 査 名：五十田博 就任年月：2019 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会	委員長名：塩原 等
設 置 期 間	2017 年 4 月 ～ 2021 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>・ 1 編につき 3 名による査読付き論文集『構造工学論文集』（日本学術会議土木工学・建築学委員会監修）を毎年 1 回刊行し、掲載論文を中心としたシンポジウムを開催することにより、産・官・学、各界の研究者・技術者に学术交流・技術交流の場を提供し、構造工学の一層の発展を図ることを目的に活動を行う。</p> <p>初年度：査読付き論文集『構造工学論文集 Vol.64B』の刊行 第 63 回構造工学シンポジウムの開催</p> <p>2 年度：査読付き論文集『構造工学論文集 Vol.65B』の刊行 第 64 回構造工学シンポジウムの開催</p> <p>3 年度：査読付き論文集『構造工学論文集 Vol.66B』の刊行 第 65 回構造工学シンポジウムの開催</p> <p>4 年度：査読付き論文集『構造工学論文集 Vol.67B』の刊行 第 66 回構造工学シンポジウムの開催</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：無（構造工学にかかわるあらゆる分野が論文の対象となるため、各運営委員会主査を委員に配するなどして、分野構成には特に考慮している）。</p> <p>主査：五十田博（京都大学）</p> <p>幹事：吉数祥一（東京工業大学）、齊藤大樹（豊橋技術科学大学）、高橋典之（東北大学）、山川誠（東京理科大学）、米田雅子（日本学術会議、慶應義塾大学）</p> <p>委員：井戸田秀樹（名古屋工業大学）、川口健一（東京大学）、河野進（東京工業大学）、堺純一（福岡大学）、塩原等（東京大学）、高田豊文（滋賀県立大学）、高橋徹（千葉大学）、長島一郎（大成建設）、土方勝一郎（芝浦工業大学）</p>	
設置 WG (WG 名：目的)		
2020 年度予算	350,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/kouzou/s11/

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	1. 『構造工学論文集 Vol.67B』
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会承認企画	なし (第 66 回構造工学シンポジウムは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止した)
大会研究集会	2020 年度大会(関東)諸行事は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 第 66 回構造工学シンポジウムの開催を除き、すべて滞りなく達成した。
委員会活動の問題点 ・課題	<p>1. 主催者である日本学術会議土木工学・建築学委員会並びに共催の土木学会構造工学委員会・論文集編集小委員会と、今後とも十分な事前調整が必要。</p> <p>2. 建築分野の投稿論文題数増加に向けた対策。</p>